



平和首長会議ニュース

2018年10月 / 第106号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,668 自治体
日本国内加盟自治体数：1,730
(2018年10月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテストの作品を募集します
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集します
- ◆米国の核実験に対し抗議文を送付しました
- ◆各地で「国際平和デー」記念行事が実施されました
- ◆第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会の次第等送付について
- ◆小溝事務総長がICRC主催「国際人道法アジア・大洋州地域会合」に出席
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆9月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,668 自治体

■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテストの作品を募集します

平和首長会議では、第9回平和首長会議総会において策定した行動計画(2017-2020)に重点取組事項として「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」を掲げています。その一環として、加盟都市における平和教育のさらなる活性化を目指して、この度、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを実施することとしました。



▼絵画コンテストの詳細(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section08>

加盟自治体の皆様におかれましては、作品の募集に関して域内の学校等に幅広く情報提供いただくとともに、応募者を取りまとめた上、12月28日(金)までに必要書類をEメールで下記のアドレスにご提出いただきますようお願いいたします。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

◎提出期限:

平成30年(2018年)12月28日(金)

=====

■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集します

=====

平和首長会議事務局では、各加盟都市において実施されている平和教育の好事例を募集しています。自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例募集について(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

今月は、モンテルパ市(フィリピン)、広島市で行われている平和教育の事例をご紹介します。

➤ 「平和意識啓発月間」を制定し、平和関連行事を実施 - フィリピン・モンテルパ市

平和首長会議の副会長都市であり、フィリピンにおけるリーダー都市であるモンテルパ市では、教育委員会が9月を「平和意識啓発月間」と定め、小中高校生を対象とした様々な平和関連行事が行われました。

平和ポスターコンテスト、折鶴ワークショップ、平和教育の授業デモンストレーション、平和をテーマとした詩を創作し暗唱するコンテスト、ショート・フィルム・フェスティバルのほか、6歳の時に広島で被爆した森川高明さんを招き、被爆体験を聞く講演会等が行われました。



9月3日、被爆体験を聞く講演会を開催
(写真提供:モンテルパ市)

▼活動報告(英語)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/activity/data/2018/PEACE_PROGRAM_REPORT_Muntinlupa.pdf

➤ 広島中等教育学校生徒による平和ガイドボランティア活動 - 広島市

公立中高一貫校である広島市立広島中等教育学校では、7月30日~8月3日、2年生(中2相当)・4年生(高1相当)の生徒が平和ガイドボランティア活動を行いました。生徒たちは4名ごとのグループに分かれ、平和公園を訪れる外国人観光客に対し、原爆ドーム、原爆死没者慰霊碑、原爆の子の像等について英語で説明を行うとともに、手作りのメッセージカードを手渡しました。

この取組は、「国際平和文化都市」を都市像として掲げる広島市が設置する学校の生徒として、平和のメッセージを全世界へ発信する使命を自覚するとともに、異なる文化や価値観をもつ外国人とのコミュニケーションを通して国際的な発信能力を高めることを目的として、広島市教育委員会の指導の下、今年度から開始されました。

生徒たちは、事前準備として、説明内容や予想される質問に対する回答を英語で準備するとともに、「ひろしま通訳ガイド協会」所属の通訳ガイドの方からガイドの際の留意点や心構え等についてアドバイスを受けました。当日、生徒たちは外国人観光客に勇気をもって話しかけ、直接英語で説明し、思いを伝える体験の中で、喜びや充実感を感じ、もっと英語によるコミュニケーションを深めていきたい、広島の中高生として平和を発信していきたい、と意欲を抱いていました。



(写真提供:広島市立広島中等教育学校)

▼平和ガイドボランティアの様子(広島市立広島中等教育学校ウェブサイト):

http://www.hiroshima-s.edu.city.hiroshima.jp/h30topikku/h300730gaidobora/h300730_heiwagaidobora.html

=====

■米国の核実験に対し抗議文を送付しました

[2018年10月11日]

=====

米国が昨年12月にネバダ州で核爆発を伴わない臨界前核実験を実施していたことが判明しました。これに対し、平和首長会議は10月11日、ドナルド・トランプ米国大統領に抗議文を送付しました。

▼抗議文(平和首長会議ウェブサイト):
(英語原文)

http://www.mayorsforpeace.org/english/statement/protest/data/181011_protest_en.pdf

(日本語訳)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/protest/data/181011_protest_jp.pdf

=====
■各地で「国際平和デー」記念行事が実施されました

[2018年9月21日]

=====
国連では、毎年9月21日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。平和首長会議はこの趣旨に賛同し、全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けています。この呼び掛けに応じて、世界各地の自治体で記念行事が実施されました。



(写真提供:
バルセロナ市)



(写真提供: 広島平和文化センター)

▼「国際平和デー」記念行事の開催について(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/180921_news.html

=====
■第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会の会議次第等送付について

=====
第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会(11月5日・6日、岐阜県高山市)に出席される加盟自治体宛に、10月18日(木)にEメールで会議次第及び出席名簿をお送りしました。また、平和首長会議掲示板にメールをお送りした旨を掲載しております。

出席連絡をいただいているにもかかわらず、平和首長会議登録メールアドレスにメールが届いていない場合は、お手数ですが次の連絡先にお知らせいただきますようお願いいたします。

なお、新たな出席希望については、締め切らせていただいております。

▼連絡先:

平和首長会議事務局 第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会担当

電話: 082-242-8872

Eメール: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■小溝事務総長が ICRC 主催「国際人道法アジア・大洋州地域会合」に出席

[2018年9月26日]

=====
小溝泰義平和首長会議事務総長は、9月26日にインドネシア・ジャカルタ市で開催された赤十字国際委員会(ICRC)主催の「国際人道法アジア・大洋州地域会合」に出席し、核兵器について人道的側面から議論するセッションの中で、各国政府関係者らを前に「核兵器のない世界をめざす市民社会の展望: 平和首長会議の取組」と題した発表を行いました。

小溝事務総長は発表の中で、被爆者のメッセージや、「核兵器のない世界の実現」「安全で活力のある都市の実現」という二つの目標を掲げて活動している平和首長会議の取組を紹介し、世界恒久平和の実現に向けて市民社会の多様な構成員が力を合わせることの重要性を強く訴えました。



(写真提供: 赤十字国際委員会)

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 48 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

ことしのノーベル平和賞の受賞者が発表されました。性暴力と戦うコンゴの医師デニ・ムクウェゲさんと、イラクのクルド民族少数派ヤジド教徒のナディア・ムラドさんに授与されます。戦争や地域紛争はもちろん、あらゆる卑劣な性暴力を根絶するために国際社会が団結するのは当然でしょう。加えてムクウェゲ医師が共同通信とのインタビューに語った言葉は重いものです。性暴力をもたらしたコンゴの紛争の原因として、日本をはじめ世界中で続くレアメタル（希少金属）の奪い合いがある、というのです。「世界中の人々や企業は利益のことばかり考えている。利益追求が性暴力被害者の苦しみに直結している」と。地球上で起きる戦争のさまざまな被害と、私たちは決して無関係ではないことを、あらためて考えてみるべきでしょう。

昨年、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞を受けた翌年だけに、ことしは核兵器廃絶に取り組む団体・個人の受賞は難しいのではと考えられていました。しかし、国内外で 20 年にわたって核兵器廃絶を訴えてきた「高校生平和大使」が初めてノミネートされるなど、国際社会の関心は引き続き高いといえるでしょう。

核兵器禁止条約を批准する国は署名開始から 1 年を経て、25 カ国・地域に達する見通しです。条約発効に必要な 50 カ国・地域の半分。しかし、核拡散防止条約(NPT)などこれまでの条約に比べ、批准のペースは決して遅くはありません。これまで延べ 200 人に及ぶ高校生平和大使たちの活動のように、地道に世界中に世論を高めていきたいと思えます。

関連記事は次のアドレスで読めます

○社説 ノーベル平和賞 性暴力根絶する契機に

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=87088>

○核兵器禁止条約 批准 25 カ国・地域へ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=87076>

○核廃絶実現へ 意欲新た 高校生平和大使・被団協

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=87050>

○原爆慰霊碑に献花 タジキスタン大統領が訪問

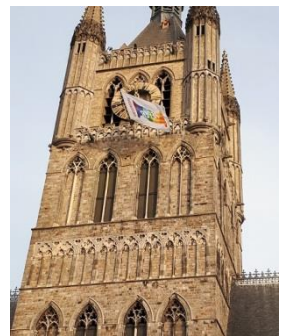
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=87007>

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

*平和首長会議ベルギー支部加盟都市(イーペル市ほか)

政府に対し「核兵器禁止条約」への署名を求める書簡に 152 首長が署名

9 月 21 日の「国際平和デー」に合わせ、平和首長会議の副会長都市であり、ベルギーにおけるリーダー都市であるイーペル市は、加盟都市のヘント市、リエージュ市とともに核兵器廃絶に向けた取組を行いました。3 市の市長とベルギー国内の反核 NGO 連合が中心となり、ベルギー政府に対して「核兵器禁止条約」への署名を求める公開書簡を作成し、国内 586 自治体の首長にこの書簡への賛同を呼び掛けました。152 人の首長がこの呼び掛けに応じて署名しました。また、9 月 21 日当日には、192 の自治体において市庁舎等に世界平和の実現を願って旗が掲げられました。



(写真提供: イーペル市)

▼ベルギーの市長による公開書簡発出の取組について(オランダ語、
「Internationale Dag van de Vrede」ウェブサイト):

<https://www.dagvandevrede.be/open-brief/>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、新しい行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事実施の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼E メール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

海外加盟都市の平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(10 月 10 日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■9月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、9月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- * 9月11日(火) ゲディミナス・バルブオリス 駐日リトアニア共和国特命全権大使
- * 9月16日(日) ロベルト・アンブレロ・エスピノサ チリ共和国外務大臣
- * 9月21日(金) ローラン・ピック 駐日フランス共和国特命全権大使

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163カ国・地域 7,668自治体
=====

10月1日付で、18自治体が加盟し、加盟自治体数は7,668(163カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

今月、アメリカ合衆国からカリフォルニア州のイースト・パロ・アルト市、メンローパーク市が加盟しました。両市はそれぞれ6月、8月に核兵器廃絶に向けた宣言文を採択し、その中で今年6月の第86回全米市長会議年次総会において全会一致で採択された「核兵器廃絶に向けて平和首長会議を支持する決議」への賛同と、平和首長会議への加盟を宣言しており、今回の加盟が実現しました。また、ポルトガルからアゲダ市が加盟しました。今年5月に駐日ポルトガル共和国特命全権大使と共に広島市を訪問されたアゲダ市の副市長に対し、松井会長が加盟を要請したところ、それが実現したものです。この他、イラン、ドイツ、フランスから計15自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼10月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018/newmembers1810_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp